

議事（3）その他（報告書の作成方針、スケジュール等）

【地下鉄 7 号線延伸検討委員会報告書の構成案】

要旨（1～2 ページ程度で簡潔に）

- ・ 延伸計画の概要 / 取巻く状況
- ・ 事業性の評価概要（需要予測、B / C、採算性など）
- ・ 延伸の方向性〔想定される選択肢：着手すべき / 検討継続 / 断念すべき〕

1. はじめに（経緯、検討過程等）

2. 延伸計画

整備計画

運行計画

延伸線沿線まちづくり

3. 社会経済情勢

運輸政策審議会答申第 18 号当時（平成 12 年）の将来像

人口減少局面・少子高齢社会

経済情勢・地域情勢

その他（東日本大震災、公共交通政策の動向 等）

4. 延伸の意義・必要性

これまでの意義・必要性

（1）運輸政策審議会答申時

（2）埼玉高速鉄道検討委員会時

本検討委員会における意義・必要性

（1）延伸線整備による意義・必要性

i. 交通サービスの向上

ii. 高齢社会への対応

iii. 環境負荷低減

（2）延伸線とまちづくりが連動することで生まれる意義・必要性

i. 地域経済の再生

ii. 地域の持続的な成長

5. 事業性の評価

総合的な評価手法

需要予測（結果に加えて、検証・精査の内容含む）

B / C

事業による効果・影響

採算性

6. 延伸の方向性の提言

事業の評価

延伸の方向性の提言

- 方向性（想定される選択肢：着手すべき/ 検討継続/ 断念すべき）
- 理由
- 事業着手のために満たすべき条件（必要に応じて）
- 延伸実現に資する提案（必要に応じて）
- 今後の対応（着手にむけた対応 / 検討継続の場合の検討内容 / 断念時の対応 - 代替措置の検討）

7. おわりに（将来予測、鉄道の意義、政策提案等）

【スケジュール（報告書の作成方針含む）】

- ・ 上記構成案に沿って、委員長総括のもと報告書案を作成する。
- ・ 第5回で上記報告書構成案の1.～4.までの原案を用意する。
- ・ 需要予測、採算性等の結果をふまえつつ、報告書構成案5.以降を準備し、各委員に照会する。（第5回は1月下旬～2月上旬を予定）
- ・ 最終的な報告書の承認は、〔(P)委員長一任 or 第6回検討委員会開催〕
- ・ 報告書を取りまとめて、2月中に県・市に提出する。